

# フォレスト Forest Winds ウィンズ

もりからのがせ・東北



No 6 2002年1月

独立行政法人・森林総合研究所・東北支所

## 森林環境教育への期待

—森林が教えてくれること—



＜森林環境教育研究への取り組み＞

### 期待される森林環境教育

森林環境教育は、森林と森林にかかわる問題に関心を持つ人をふやすとともに、知識、技能、態度、意欲、遂行力をもち、現在・将来の問題の解決に、個人的・集団的に貢献することができる人々を育てることを目的とした幅広い内容をもつ教育としてとらえることができます。

平成13年に施行された『森林・林業基本法』では、教育のための森林利用がうたわれ、『森林・林業基本計画』では、森林環境教育推進のための森林整備、指導者確保が必要とされています。一方、教育の現場では平成14年度から「生きる力」の育成を目的とする総合的な学習の時間が導入されますが、そこでは自然体験が推奨されています。自然体験の豊かな子どもほど道徳観や正義感が身についているとの調査結果もあります。いま森林と教育の両サイドから森林環境教育に対する期待が高まっているのです。

## ■ 森林環境教育がめざすもの —— 気づきから行動へ ——

森林環境教育の具体的な活動として、認識から  
関与への各段階が想定できます。



① 森の探検で…大きな落ち葉に木の葉を集めた！

①認識：遊び活動などを通じて森林に生息する動植物の姿に気づく。



② 樹木学習で…この木の特徴は葉っぱのギザギザ！

②知識：観察などを通じて動植物の名前や生息環境、問題の存在を知る。



③ 学校林調査で…りっぱな！けど少し暗過ぎる！

③態度：知識を基礎に考え、問題に対する価値観や意欲を得る。

実際に行われる森林環境教育活動では、これらが一度に達成されるわけではなく、認識から知識へ、知識からは態度へとより高次の段階へのステップアップをめざすこととなります。このような活動の積み重ねが、森林環境教育の受け手である個人や社会集団の態度、技能、関与をはぐくみ、ひいては自然環境や森林と社会の間に存在するさまざまな問題の解決に貢献するものと期待されているのです。



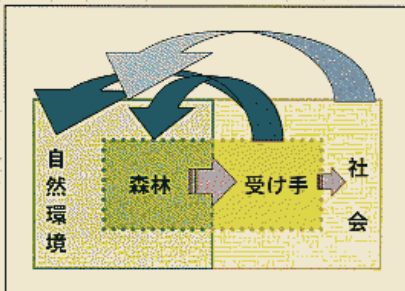
⑤ 下草刈り活動で…手伝ってあげる、早にまけるな！

⑤関与：作業などを通じて、問題を解決するための関与をする。



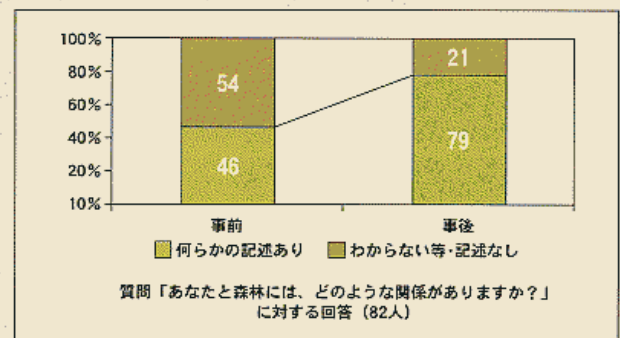
④ ショップで…動物の立場でも学校林を考える！

④技能：知識や意欲を基礎に、問題を分析して解決策を考える。



## ■ 森林環境教育研究がめざすもの

森林環境教育の現場は森林、受け手、プログラム、指導者の組み合わせで構成されます。単なる森林体験ではなく、受け手がステップアップできる活動がどのような要素の組み合わせにより実現できるのかが重要な課題です。また、活動の場としての森林の管理方法も重要な課題です。森林環境教育研究はそのような課題に対する答えを探ろうとしています。小学5年生の森林体験学習を対象とした調査では、「森林と自分との関係」についての問いかけに対して、事前には「わ



からない」などと回答するか、なにも書けなかった子どもたちが、事後には何らかの回答をできるようになるといった効果がみられることがわかっています。

### 森林総合研究所・東北支所

● 環境教育機能評価チーム長 大石 康彦  
〒020-0123 盛岡市下厨川字鍋屋敷92-25  
TEL 019-641-2150 FAX 019-641-6747